

# 資料1

(1) 平成22年度 10月以降 松くい虫関係資料

## 千曲市林業振興協議会 松くい虫被害視察、意見交換

20101002/朝刊/北信1/031頁/060版/発信元:自社/併用素材:

人物:/企業:/市町村:/執筆者:

区分:県内/ジャンル:産業・労働/事象:/種別:

信濃毎日新聞 10月2日 朝刊

千曲市の林業施策について話し合う市林業振興協議会は1日、本年度の初会合を市上山田庁舎で開いた。松くい虫被害が確認されている市内のアカマツ林を視察し、防除策として行った農薬の空中散布を中心に意見を交わした。

委員14人が出席。市は6月に125ヘクタールで空中散布をしたと報告。散布前後の同月15～22日、散布した近隣集落6カ所で大気中の濃度を調べた結果、農薬の主成分は安全基準を下回ったとした。住民から健康被害に関する連絡も寄せられていないという。

空中散布について、委員からは「地上散布では行ける所に限られる」「ベストではないが、ベターな方法」など支持する声が多く聞かれたが、「極力やめて空中散布に代わる方法を考えるべきだ」との意見もあった。

市は今回の議事録や資料を今後、市ホームページに掲載し、市民の声を募る。同協議会は次回会合で空中散布を来年度も行うかどうか、意見をまとめる。

松くい虫防除薬剤空中散布後の症状調査の集計結果報告書提出について

子ども達の明るい未来を守る会  
千曲市の学校給食を考える会

<はじめに>

千曲市上山田、更級地区及び更埴地区において本年6月17日、18日に松くい虫防除の薬剤の空中散布が行われました。

近隣の上田市及び坂城町においては2008年の空中散布により多数の人的被害が出たことから、2009年より空中散布の実施を取りやめております。

他地区で人的被害が出ているという事は、千曲市においても何らかの被害が発生していることが疑われます。しかしながら、起きた現象と空中散布との因果関係に誰も気付くことができなければ、当然報告として上げられる事はありません。

<症状調査の実施>

千曲市において本当に人的被害が出ていないかどうかを確認するべく、別紙のような「松くい虫防除薬剤の空中散布による症状調査のお願い」の用紙を用意し、散布地区や周辺地区などの若いお母さん方をお願いして、100枚ほどの枚数をお配りして調査にご協力を頂いた結果、28名の回答者のうち15名が症状を記録しておりました。

頭が痛い、咳がでるなど、風邪っぽい症状が多くでており、中にはかなりひどい風邪よりの症状で苦しんだ方もありました。

薬剤曝露による被害を一番強く受けると思われる胎児や乳幼児について、本来ならば真っ先にしなければならぬ対象ではありますが、症状を表現する事のできない年代ではその調査は大変難しいものがあります。ですのでその辺については全くできておりません。

<調査の結果>

調査の結果は別紙「松くい虫防除薬剤空中散布による症状調査の集計報告書」にまとめました。回答者28名の内、症状が出た人は15名もいました。

頭が痛い、咳が出る、体がだるい、つかれる、など風邪っぽい症状が多く出ています。又、普段風邪をひいたことのない人が、散布後ひどい風邪症状に苦しんだという人もありました。

わずか100枚ほどの配布枚数にもかかわらず、15名もの人に症状が出ているという事は大変な数字であると言えるのではないのでしょうか？

又、症状の発生地区について、散布地区から離れていると思われる戸倉や屋代地区でも症状を訴える人が多く出ているという事は、風向きの関係にもよるものと考えられます。

<私の感じたこと>

薬剤空中散布の当日、私は外出するために家から出て車に乗ろうとした時、ふわっと農薬の臭いを感じました。私は慌てて車に乗り込み、車内の熱気もそのままにして車を発進させました。『子ども達に悪影響が出なければいいが・・・』と、とても心配になりました。

又、私の家の軒先にある、はなみずきの木には毎朝必ず6~7羽の（以前はもっと沢山の数の）スズメたちが来てチュンチュン、チュンチュンと朝を知らせてくれていましたが、散布当日以降一度もスズメたちは来なくなりました。大変寂しい思いをしております。

又、隣家の軒下の巣に来ていたツバメも見かけなくなりました。スズメもツバメもきっと農薬の犠牲になってしまったのではないかと思います。

ここ数年前からスズメやツバメをはじめ、あらゆる野鳥達の数が年々激減している事がとても気がかりです。

鳥達が生きられない環境では、将来、人間も必ず同じ道を辿る事になる筈です。今、名古屋では生物の多様性を守る為のCOP10が開催されていますが、子ども達の世代

に悪影響を及ぼす事のないように、生物の多様性を守ることを最重要に考えたご配慮をお願いしたいとおもいます。

#### <近隣地域への影響>

10月13日坂城の方から電話がありました。

「千曲市の空中散布の農薬を曝露して具合が悪くなり、医師の診断を受けたところ『農薬中毒です』と言われました。千曲市の農政課に行きたいと思いますが、一緒に行って頂けますでしょうか？」という事でした。話の内容は次の通りです。

6月17日 朝から頭が痛かった。県庁にて「農薬の空中散布中止を求める署名」を長野県知事に提出する為に車で国道を走っている時、変な臭いがした。篠ノ井あたりまで臭いが続いた。その日、お母さんと夫も「外の空気がおかしい」と言っていた。その後頭がぼーとなり、何も考えられない状態になってしまった。

6月18日 状態は更に悪く、息が苦しくなり寝込んでしまった。血圧は40-80と低くなっていた。9歳の娘がイライラしていて、おばあちゃんに怒鳴ったりしていた。普段はそのような事はしない子なのに。

6月19日 群馬県の青山小児科医院に受診したところ、有機リン農薬中毒と診断された。

変な臭いは何日か続いてありました。

毎年、千曲市で空中散布をした後は子どもと私は頭が痛くなったり、とても具合が悪くなります。

#### <まとめ>

以上のようなお話をお聞きして、薬剤の飛散の範囲はかなり広範囲に亘り、思わぬ影響を及ぼしている事が明確になりました。

有機リン農薬は神経毒性が強く、曝露すると神経が侵され、多動や、痴呆の発祥原因となります。年毎に増加している障害児の発生にもかなりの関係が疑われます。

胎児や乳幼児のように、脳細胞の最も活発な成長期に、わずかでも脳細胞の破壊が起きれば、成長にともなってますますその破損は大きく広がり、脳の障害につながる事は医学会でも発表されています。

松の木は枯れたとしても、松は枯れる前にしっかりと種を沢山残しています。種が残っていれば必ず又、松は生えてきます。

人間の子どもの脳に障害を負ったら、その子は自分の子を産み育てる事は到底出来ません。そればかりではなく、その子の親は年を取っても死ぬまで、その子の面倒を見なければなりません。

現在、そのような障害児が児童の1割を占めているという異常事態をこそ、最重大事ととらえた対策を打ち出して頂きたいと、切にお願いを致します。

子ども達の明るい未来を守る会

会長 茅原 紘

事務局 池田 靖子

千曲市若宮448-7

千曲市の学校給食を考える会

会長 川久保洋子

千曲市小島2893-8

2010年9月17日

## 松くい虫防除薬剤の空中散布による症状調査の集計報告書

子ども達の明るい未来を守る会  
千曲市の学校給食を考える会

2010年6月17日、18日に上山田、戸倉地区及び更埴地区において、松くい虫防除薬剤の空中散布が行われました。

2008年6月～7月にかけて上田市で行われた薬剤空中散布の後、地域の保育園児や大人にも、気分が悪い、胸が苦しい、頭が痛い、発熱、腹痛、下痢、落ち着きがなくなる、多動になるなどの症状が報告され、佐久総合病院による検査の結果、農薬の中毒症状の疑いが深まり、上田市では2009年より空中散布を中止しておりますが、千曲市においては、今年も薬剤の空中散布が行われました。

保育園児や乳幼児及び胎児など小さい子どもさんへの影響が懸念されるところです。そこで、当会では市民の方々に、空中散布後の症状調査にご協力をお願い致しました。

お配りした調査用紙は100枚足らずでしたが、調査結果は、以下のようになりました。

回答者 28名

	戸倉	更級	五加	屋代	上山田	合計
回答者人数	11	6	1	3	7	28
症状が出た人数	9	5	0	1	0	15
頭が重い、痛い、クラクラする、		2		1		3
頭がボウとする、締め付けられる	1					1
目が痛い、かすむ、目が赤くなる						
めまいがする						
鼻水が出る、風邪っぽい				1		1
鼻血が出る						
息苦しい、息が吸えない						
咳が出る、	6	3		1		10
喘息の発作が出る						
熱がでる				1		1
どうきがひどい						
気持ちが悪い、吐き気がする						
嘔吐する						
腹痛がある		2				2
下痢をする						
皮膚が赤くなる、かぶれる	2					2
アトピーが悪化する	1					1
体がだるい、疲れる	2					2
元気がない、ぐったりしている						
機嫌が悪い、怒りっぽくなる						
落ち着きがなくなる						
絵をうまく書けなくなる						
合計	12	7		4		23

子ども達の明るい未来を守る会  
事務局 千曲市若宮 448-7  
Tel/Fax 026-275-2094 池田靖子

2010年6月10日

松くい虫防除薬剤の空中散布による症状調査のお願い

子ども達の明るい未来を守る会  
千曲市の学校給食を考える会

6月15日、16日に上山田、戸倉地区及び更埴地区において、松くい虫防除薬剤の空中散布が行われます。

2008年6月～7月にかけて上田市で行われた薬剤空中散布の後、地域の保育園児や大人にも、気分が悪い、胸が苦しい、頭が痛い、発熱、腹痛、下痢、落ち着きがなくなる、多動になるなどの症状が報告され、佐久総合病院による検査の結果、農薬の中毒症の疑いが深まり、上田市では2009年より空中散布を中止しております。

千曲市においては薬剤の空中散布が続けられておりますが、保育園児や乳幼児及び胎児など小さい子どもさんへの影響が懸念されるところです。  
つきましては、空中散布後の症状調査にご協力を頂きますようお願い申し上げます。

記入についてのお願い

- ① 年齢・性別・自治会名・所属（保育園名等）をお書きください。
- ② 空中散布の後、普段と違う症状や体の違和感など、該当する症状があれば○で囲んでください(該当する場合は幾つでも)。これ以外の症状がありましたらその他の欄に記入してください。
- ③ 子どもさんだけでなく、ご家族の方でも何か症状が感じられた方はそれぞれ別用紙に記入して下さい。

対象者 年齢 才、 性別(どちらかに○を) 男・女、自治会名 区、所属

- ・ 頭が重い、痛い、クラクラする、
- ・ 頭がボウとする、締め付けられる
- ・ 目が痛い、かすむ、目が赤くなる
- ・ めまいがする
- ・ 鼻水が出る、風邪っぽい
- ・ 鼻血が出る
- ・ 息苦しい、息が吸えない
- ・ 咳が出る、
- ・ 喘息の発作が出る
- ・ 熱がでる
- ・ どうきがひどい
- ・ 気持ちが悪い、吐き気がする
- ・ 嘔吐する
- ・ 腹痛がある
- ・ 下痢をする
- ・ 皮膚が赤くなる、かぶれる
- ・ アトピーが悪化する
- ・ 体がだるい、疲れる
- ・ 元気がない、ぐったりしている
- ・ 機嫌が悪い、怒りっぽくなる
- ・ 落ち着きがなくなる
- ・ 絵をうまく書けなくなる

その他の症状

ご意見等ありましたらお願いします

ご協力ありがとうございました

連絡先

子ども達の明るい未来を守る会  
事務局 千曲市若宮 448-7

Tel&Fax 026-275-2094 池田靖子

## 表現力向上へ

長野・上田で来月

長野市を拠点に活動する劇団が、中高生を対象に演劇作りを通じて表現力を高めるため、おらこ「表現&コミュニケーションワークショップ」を15日から開催する。メールでは気持を伝えられるのに、直接会うと口まぐ話さない。そんなコミュニケーション不全の解消にも一役買ってもらおう。

主催するのはNPO「劇空間 夢幻工房」。理事長で講師を務める演出家、青木由里さん(49)が「ネットの流通が加速化し、伝える力の低下が深刻なレベルになっている」と著書、企画した。

長野市と上田市でそれぞれ12月4日と27日に計2回開く。募集する中高生は20人ずつ。最終日は長野市内で合同発表会を開く。参加費は3千円。演劇経験は問わない。青木さんは1997年の10月5日設立以来、市



山田純太郎君(6)は「めんがおいしい」と盛んな食欲を見せた。(平林敏二)

### 乳がん啓発団体

授乳し、来する予定。口

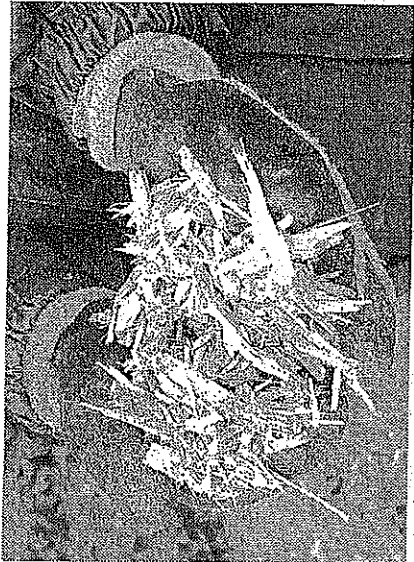
### 信州大そばPR 手打ち振る舞う

飯田の農産物直売所 もちもち感があって食感が良いと人気の「手打ちそば」は、

# 松食い虫被害木 チップ活用模索

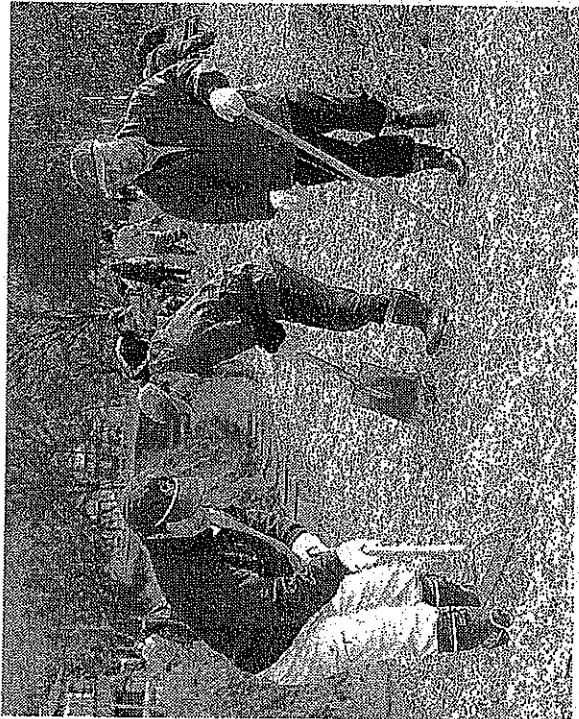
松食い虫の被害を受けたマツを利用したチップで焚き火や植込みを準備するイベントが28日、千曲市の豊科地区であった。松食い虫被害木材の活用などに関心を持ってもらおうと、長野森林組合が主催した。

(上田悠)



松食い虫の被害を受けたマツを碎いてチップ化

## 街路に敷き雑草減へ



松枯れチップをまいて遊歩道を整備する参加者たち＝千曲市豊科

作業には地元住民ら約100人が参加した。同組合の担当から松食い虫による森林被害について説明を受けた後、三滝川の堤防沿いの路上約150坪とその周辺の街路に約1時間かけてチップをまいた。

県林務部によると、松食い虫被害は樹原虫の「マツサイヤンチユウ」(体長約0.8センチ)が、マツの中で増殖して木を衰弱させることで発生する。この虫が他の虫によって運ばれ、全国各地に被害が拡大している。

県内では1980年代に旧山口村(現岐雲県中津川市)で初めて確認された。被害はほかの市町村にも徐々に拡大し、昨年は約6万立方メートルの森林が被害を受けた。

被害の拡大を防ぐため、各自が枯れ木の伐採や、薬剤の散布などを行っているが、根本的な対策は見つかっていない。

一方、松食い虫の影響で枯れた樹木はこれまで、その場で薬剤処理して放置されていた。チップにする事によって松食い虫が成長できなくなるほか、地面に敷き詰めることで雑草の繁茂を防ぐ効果が期待できるという。

参加者たちからは「こんなに松食い虫の被害があるとは知らなかった」「雑草が減れば助かりますね」といった声があった。

県や組合では今後も被害木をチップや燃料として活用できないか模索していくとしている。

「愛の鐘」思い出づくりいかん

来月23日イベント

松本 最終 日本フ (JFL) 最終節の28 テックス 1 仙台FC (前半0 1) 集成績は15 ち島説 7 を終了し 後半3 分で同点 にゴールキ

**「空中散布で健康被害」主張 千曲市民有志、アンケート基に 市は「因果関係ないと認識」**

20101209／朝刊／北信1／027頁／060版／発信元：自社／併用素材：

人物：／企業：／市町村：／執筆者：

区分：県内／ジャンル：環境・エネ／事象：／種別：

信濃毎日新聞 12月9日 朝刊

千曲市が松くい虫対策で行っている農薬空中散布の中止を求めている市民の有志らが8日までに、市民を対象に行った健康状態についてのアンケートの結果をまとめた。15人の健康被害を確認したとし、農薬散布が原因と主張。これに対し、市は散布前後の調査で大気中の農薬の主成分は安全基準を下回ったとし、「因果関係はないと認識している」としている。

空中散布は6月17、18日に戸倉、上山田、更埴地区の計125ヘクタールで実施。アンケートは「子ども達（たち）の明るい未来を守る会」など2団体が行った。事前に散布地の周辺世帯などに100枚ほど調査用紙を配り、散布後に回収したという。

該当する症状全てに丸印を付けてもらう方式で、男女28人から回答があった。症状が出たと答えたのは3～57歳の15人。最も多い「せきが出る」が10人、「頭が重い」が3人、「腹痛」「皮膚が赤くなる」「だるい」がそれぞれ2人と続いた。

同会事務局で栄養士の池田靖子さん（65）＝千曲市若宮＝は「農薬との因果関係を知らなければ、症状は風邪だと思う」と指摘。近隣の上田市や坂城町、青木村が本年度、住民の健康に影響する可能性などを考慮し、散布を中止したことを挙げ、「できれば県単位で中止を」と求める。

アンケート結果は10月に市農林課に提出した。同課は来年開く市林業振興協議会で、来年度も空中散布を行うかどうかの意見をまとめる方針で、結果は同協議会の委員に伝えるという。



## 農薬空中散布の在り方検討へ 県が連絡会議初会合

20101223/朝刊/総合4/004頁/060版/発信元: 自社/併用素材: 写

人物: /企業: /市町村: /執筆者:

区分: 県内/ジャンル: 環境・エネ/事象: /種別:

信濃毎日新聞 12月23日 朝刊

県は農薬の空中散布の在り方を検討するため関係部局による連絡会議をつくり、22日、県庁で初会合を開いた＝写真。「松くい虫防除」と「農作物防除」の二つの部会を設け、外部の有識者を交えて検討していくことを確認。それぞれ空中散布の健康への影響やより安全性の高い散布方法などを検討し、農作物防除は本年度中に、松くい虫防除は来年8月ごろをめどに一定の意見集約を図る方針だ。

連絡会議は林務、農政、健康福祉、環境各部の部長らで構成。松くい虫対策の空中散布について林務部は、2003年度は18市町村が計943ヘクタールで実施したが、健康被害の訴えなどから中止する市町村が相次ぎ、09年度は8市町村の計337ヘクタールに減少したと報告。一方、「現実にはほかに効果的な代替策がなく、多くの市町村は実施を継続する方針だ」と説明した。

水稲など農作物への空中散布をめぐる農政部は、近年の実施面積が5千ヘクタール程度で推移しており、農家の高齢化などから「効率的な防除などを行うため、今後も利用が見込まれる」とした。

11/4(木) 雨宮保育園どんぐり大作戦

拾ってきたどんぐりをポットに蒔き、2年ほどかけて苗木を育て、市内の森に植樹する「どんぐり大作戦」が行なわれました。

園児40人は、シャベルを手に一生懸命ポットに土を入れて、大事にどんぐりを土の中に埋めていました。11月2日(火)には、戸倉保育園でもどんぐり大作戦が行なわれました。

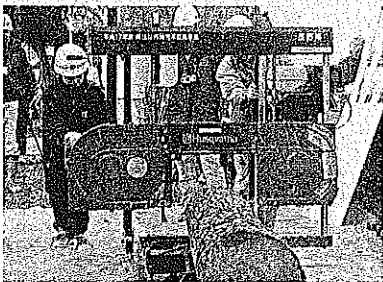


12/12(日) クリスマスリース・丸太ベンチ作り体験

倉科公民館で行なわれ、倉科地区の子どもたちを中心に約100人の皆さんが参加しました。このイベントは、災害を防ぐ森林の役割や、森林整備の大切さを子どもたちに知ってもらうことを目的に行なわれました。

クリスマスリースは、小学校高学年の皆さんが山に入って取ってきたツルを使用し、ベンチは、松くい虫の被害に遭った赤松を利用して作成されました。

参加した子どもたちは、ツルをリースの形に仕上げると、松ほっくりやリボンなどを上手に使いながら、楽しそうに飾っていました。



市民から寄せられた提案とその回答を紹介(提案・回答は要約しています)

●提案 松くい虫農薬散布について

わが家は農家なので、農作物や子どもたちの体への影響を心配しています。松の枯れる原因をしっかりと調査して、散布以外の方法で対策ができる地域は、散布を中止してほしいです。

●回答(経済部農林課)

松くい虫防除においては、伐倒駆除と空中散布の2つの方法をとっています。民家近くの里山では伐倒駆除を、急峻で人里離れた松林では必要最低限の範囲で空中散布を行なっています。

空中散布は、薬剤が飛散しないように地上1.5mの位置における風速が5m/秒を超えると

きは散布を中止しています。気中濃度測定も市内6箇所で行ない、環境省で定められた航空防除農薬に係る気中濃度評価10マイクログラム/m<sup>3</sup>に対し、いずれの箇所でも0.05マイクログラム/m<sup>3</sup>以下でした。

このことから、住宅地における散布後の気化した農薬の影響は少ないと考えております。

千曲市長 近藤清一郎 様



## 松くい虫防除薬剤空中散布の中止を求める要望書

### 《症状調査結果報告書の提出》

昨年6月、千曲市の山林において松くい虫防除薬剤の空中散布が行われました。空中散布による人的被害は、千曲市では今までなかったという事で、昨年も例年どおり実施されたわけでありませう。

しかしながら、先般10月28日に市内の市民団体である、子ども達の明るい未来を守る会、並びに千曲市の学校給食を考える会による、市民サイドでの症状調査の結果報告書が千曲市農林課に提出されました。

### 《人的被害発生の確認》

報告書によりますと配布枚数わずか100枚ほどにもかかわらず、15名の人に症状が出ているということでした。

頭が痛い、咳がでる、体がだるいなど風邪っぽい症状が多く、中にはかなり症状のひどい人もありました。

又、更には近隣市町村の方からも「千曲市の空中散布農薬により『農薬中毒です』との医師からの診断を受けた」という報告が提出されました。

以上の事から千曲市で行っている空中散布の薬剤により、千曲市民のみならず近隣市町村にまで人的被害を及ぼしていることが明確になりました。

### 《薬剤の神経毒性》

2008年に上田市で実施した、空中散布により発生した人的被害では、保育園児たちにADHD(注意欠陥多動障害)と診断される症状が多数発生した事が報告されています。

有機リン農薬は神経毒性が強く、曝露すると神経が侵され、多動や痴呆の発症原因となる事は医学会でも発表されています。

最も懸念されることは、妊娠中の胎児や乳幼児期における被爆による障害の発生という事です。脳細胞の最も活発な成長期に、わずかでも脳細胞の破壊が起きれば、成長にともなっていますその破損は大きく広がり、脳の障害が起きてくる事は研究者も発表しています。

### 《大切な子ども達に障害を与えない為に》

近年、ADHDなどの障害を持つ子どもが急増しています。長野県において障害を持つ子どもが就学児童の一割にも及ぶという事は、本当に異常事態と言わねばなりません。

千曲市においても「発達障害に関する相談件数は、昨年4月~9月までで77件と、不登校問題と並び際立って多い状況である」(11月2日、理事者と語る会にて教育総務課回答)とお聞き致しました。2008年に上田市で起きた事は、千曲市においても起きている可能性は十分に疑う必要があると思われませう。

次の時代を背負ってもらわなければならない、大切な子ども達に障害を与える可能性のあるものは、極力排除して行くことが切に望まれます。

千曲市は環境を大切にす都市として、全国環境首都コンテストで人口規模別の第3群(人口5万人以上10万人未満)で2位に入賞しました。又、部門別の住民参画部門では、第3群で1位になっています。市と市民のパートナーシップが高く評価されています。千曲市が名実ともに環境を大切にす都市として、若い人達の意思を尊重し、彼等が本当に安心して子育てをしていかれる環境づくりを、最重要に配慮した施策を実施して頂きたく、農薬の空中散布は今後行わないよう、強く要望致します。

平成23年 1月 20日

農薬の空中散布中止を求める連絡協議会

- 17日(木) 朝から頭が重い、午前中長野へ行く途中戸倉～篠ノ井の辺まで  
 変なニオイがしてとても熱い日でしたが車の中で南めまて長野まで行く  
 家に帰ってくるの空気が悪くなっているように感じた。頭の中がいつぱいで重く考えられない  
 上田に行くと少し良くなってくる。娘も目が痛いと言う。母も夫も今日は何かにおう空気がちがう  
 と言っていた。
- 18日(金) 頭がいつぱい、息苦しい。夫は血圧を計るといつも正常なのにとても低かった。  
 夕方苦しくなって横になる。娘は朝からおはあちゃんとなっていた。
- 19日(土) 群馬 青山内科小児科へ行く。不正脈と目の検査をして「農薬の害」と診断される。  
 手のふるえもあつたよう。首と肩のこりがひどい。
- 20日(日) 1日中おむい。頭がスッキリしなくて1日中おたたり、起すなり夜と昼においおした。(解音刺のみ)  
 21日(月) 朝起きた時は体調が良い、外に出るとにおう。頭がクワクワ。職場にいくと頭もスッキリしてくる  
 帰ってくる少しにおう頭が痛い、少し息苦しい。
- 22日(火) 朝少しにおう。昼目のフカれ。肩、首のこり、息苦しい。夕方田んぼの近くを道で農薬に反応  
 して具合が悪くなる。
- 23日(水) 朝から大雨、また調子が悪い。夕方は調子が良い。
- 24日(木) 朝少し息苦しい。頭はまだ少しスッキリしない。

21日 悪化 (ツル心か、徳高?) 6月～7月はとにかく調子が悪い

(匿名希望)

22年 10月 28日 記録書受取り 池田

# 診 断 書

(住 所)

(氏 名)

病名 一過性農薬中毒の疑い (有機リン系)  
6月19日発症以来。頭痛・吐気・めまい・前胸  
部苦悶あり。視物障害と眼球運動の異常  
(著しい振盪と発汗あり)あり。電図で  
QT延長と環性整脈下みえられた。7月5日  
再診。前回の解毒剤内服で自覚症状は  
軽減した。軽度の貧血(Hb9.5)と白血球減少  
(2130)のみ肝機能は正常で、10月30日再診  
での症状消失(電図正常、白血球2430、Hb12.0  
で、6月19日以前(2〜50前)の農薬暴露を疑った。

上記のとおり診断いたします

平成22年11月4日

〒371-0844 前橋市古布町350番地  
内科小児科 青山医院  
医師 青山美子  
TEL 027-251-2861  
FAX 027-254-2497



## 空中散布中止求め、千曲市長に要望書 市内の連絡協議会

20110121／朝刊／北信1／027頁／060版／発信元：自社／併用素材：写

人物：／企業：／市町村：／執筆者：

区分：県内／ジャンル：環境・エネ／事象：／種別：

信濃毎日新聞 1月21日 朝刊

千曲市が松くい虫対策で実施している農薬空中散布に反対する市内の女性団体などの連絡協議会が20日、近藤清一郎市長に散布中止を求める要望書を手渡した。

連絡協議会は、市内の有志らでつくる「子ども達（たち）の明るい未来を守る会」が他団体に呼び掛け、今月発足させた。要望書は、昨年6月の空中散布後に市民を対象に行った健康状態に関するアンケートなどを基に「人的被害を及ぼしていることが明確」と主張。「子どもたちに障害を与える可能性のあるものは、排除していくことが望まれます」としている。

市は25日に開く市林業振興協議会で、来年度空中散布を行うかどうか、意見をまとめる方針。連絡協議会代表の池田靖子さん（65）＝千曲市若宮＝は「林業振興協議会の委員には要望書を読んで判断してほしい」と要請。近藤市長は「安全と安心を守るのが私たちの仕事。皆さんの意見を考慮し、より良いものにしたい」と応じた。

政治・経済
文化・教育
コラム
生活・福祉
産業・企業
観光
グルメ
催し物
スポーツ
約情報
文芸
エトセトラ
パソコン
ホーム

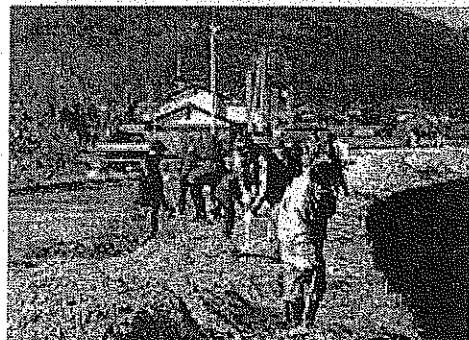
### 松くい虫被害材を活用(11年1月25日付)

#### 倉科でチップロード造成

松くい虫の被害材を破碎したチップで、歩道の整備や市道植え込みへのマルチングが、千曲市倉科地区でこのほど行われた。

長野森林組合更埴支所が主催、長野地方事務所林務課が後援、千曲市農林課森林整備係が共催して実施。地元住民約110人が、被害材の山からの運び出しやチップロード造成の協働作業に参加して汗を流した。

三滝川左岸堤防と市道うぐいす線西側歩道が対象区域で、参加者からは「被害材の有効利用で、効果が楽しみです」という声が聞かれた。



チップをまき歩道整備

広告募集中!